



## 雪が来るべたべた白をぬりに来る

森岡香代子

雪月花は日本の美の象徴であるから、美しく描かれ、賛美して詠まれるべきものである。それをこんな風に俗っぽい句にするとはいけしからん。



## 少年の大志五十路の埋火か

北熊紀生

五十路となった今も、若い頃の大志は、まるで埋火のように健在であることに気付いたのだ。火箸でちょっと突つけば燃え上がる。ご用心を。



## 宝船枕の下で沈没す

久松久子

初夢に登場の宝船は願望であり可能性である。新年の幸福を願いながらいつの間にか寝落ちしたのだ。沈没とは情けない。七福神を救出せねば。



## 予定にはのんびりと書き初暦

加藤潤子

初暦の空欄に、いつもなら様々な予定を書き込むのだが、今年は違った。のんびりと英気を養うのもいいではないかと。ぼんやりもおすすめします。



## 年玉をスマホで送金詐欺のごと

井野ひろみ

お年玉は現金をポチ袋に入れて手渡すのが正しい渡し方であり貰い方でもある。遠方にいる場合は仕方ないか。なんとなく「オレオレ詐欺」気分。



## 一打ごと煩惱砕く除夜の鐘

門屋 定

百八もある煩惱を一つずつ収めて新年を迎えたい。強い煩惱はかなり力を入れて打たないと効果がないだろう。二つ三つ煩惱砕けず除夜の鐘。